

# 2023年3月期（第71期） 決算説明資料

株式会社 マキヤ

<https://www.makiya-group.co.jp>



## 第71期【連結】損益計算書

(単位：百万円未満切捨て、%)

	2022年3月期		2023年3月期		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	68,549	100.0	70,938	100.0	103.5
売上総利益	15,667	22.9	16,170	22.8	103.2
営業収入	648	0.9	645	0.9	99.6
営業総利益	16,315	23.8	16,816	23.7	103.1
販売費及び一般管理費	14,635	21.3	15,180	21.4	103.7
営業利益	1,680	2.5	1,635	2.3	97.3
経常利益	1,815	2.7	1,812	2.6	99.8
当期純利益	1,331	1.9	1,187	1.7	89.2

- ① 食品・・・「生鮮」「日配」「グロサリー」の全部門が増収
- ② 「競合店対抗による価格競争」・「原材料費高騰による仕入価格の上昇」などにより値入率が低下したものの、「消費期限値引きや廃棄」などの削減により、ロス額は前期比14.3%の削減
- ③ 電気料の単価の高騰により、水道光熱費が前期より419百万円増加（前期比41.8%増）
- ④ 連結子会社運営のグループ内物流業務コストの上昇
- ⑤ 前期に税金費用の一時的な減少による税負担率の低下があったため、当期純利益の前期比は低減

## 第71期【連結】売上分野別内訳

(単位：百万円未満切捨て、%)

	2022年3月期		2023年3月期		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	
日配・加工食品	40,078	58.5	42,130	59.4	105.1
生鮮食品	12,742	18.6	13,172	18.6	103.4
HBC(ハルス&ビューティーケア)	5,237	7.6	5,270	7.4	100.6
住関連商品	4,577	6.7	4,356	6.1	95.2
生活関連商品	2,411	3.5	2,432	3.4	100.9
その他	3,501	5.1	3,575	5.1	102.1
合計	68,549	100.0	70,938	100.0	103.5

## 第71期【連結】販売費及び一般管理費

(単位：百万円未満切捨て、%)

	2022年3月期		2023年3月期		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	
販売費	1,058	1.5	1,060	1.5	100.2
人件費	6,785	9.9	6,778	9.6	99.9
水道光熱費	1,000	1.5	1,419	2.0	141.8
不動産賃借料	2,024	3.0	2,026	2.9	100.1
その他	3,765	5.5	3,895	5.5	103.4
合計	14,635	21.3	15,180	21.4	103.7

## 第71期【連結】貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て、%)

		2022年3月期		2023年3月期		前期末増減
		金額	構成比	金額	構成比	
資産	流動資産	8,307	25.8	9,895	29.5	+1,587
	固定資産	23,861	74.2	23,604	70.5	△257
	資産合計	32,169	100.0	33,499	100.0	+1,330
負債・純資産	流動負債	10,492	32.6	10,866	32.4	+373
	固定負債	4,960	15.4	4,852	14.5	△107
	負債合計	15,452	48.0	15,718	46.9	+266
	純資産	16,717	52.0	17,780	53.1	+1,063
負債・純資産合計		32,169	100.0	33,499	100.0	+1,330

- ① 流動資産・・・災害リスク対策として手元流動性を高める方針により、現金及び預金が1,119百万円増加  
売上高増などに伴い「商品在庫」「売掛金（クレジット等未収金）」が314百万円増加
- ② 固定資産・・・減価償却により有形及び無形固定資産が178百万円、繰延税金資産が67百万円減少
- ③ 流動負債・・・契約負債（マキヤプリカチャージ残高、グループ商品券発行残高等）が321百万円増加
- ④ 固定負債・・・退職給付に係る負債が74百万円、長期借入金が33百万円減少
- ⑤ 純資産・・・自己資本比率は53.1%で前期末より1.1%増

## 第71期【個別】損益計算書

(単位：百万円未満切捨て、%)

	2022年3月期		2023年3月期		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	68,074	100.0	70,385	100.0	103.4
売上総利益	15,460	22.7	15,954	22.7	103.2
営業収入	689	1.0	687	1.0	99.7
営業総利益	16,150	23.7	16,641	23.6	103.0
販売費及び一般管理費	14,619	21.5	15,153	21.5	103.6
営業利益	1,530	2.2	1,488	2.1	97.2
経常利益	1,686	2.5	1,686	2.4	100.0
当期純利益	1,256	1.8	1,114	1.6	88.6

① 個別業績の経常利益は、0.3百万円の増益

② 店舗政策

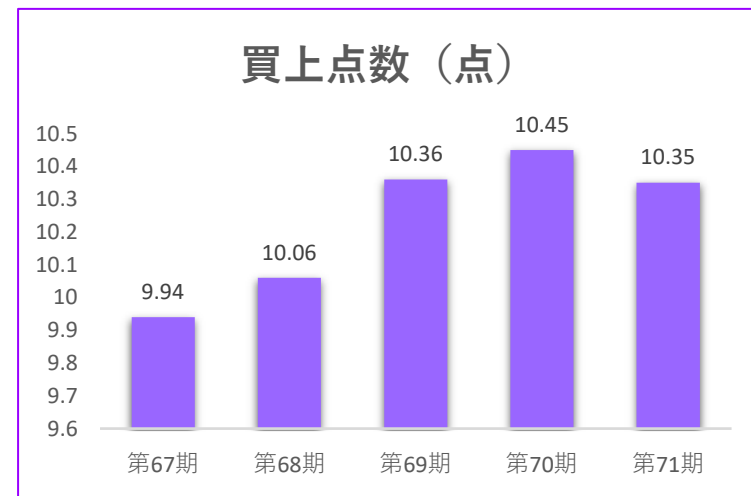
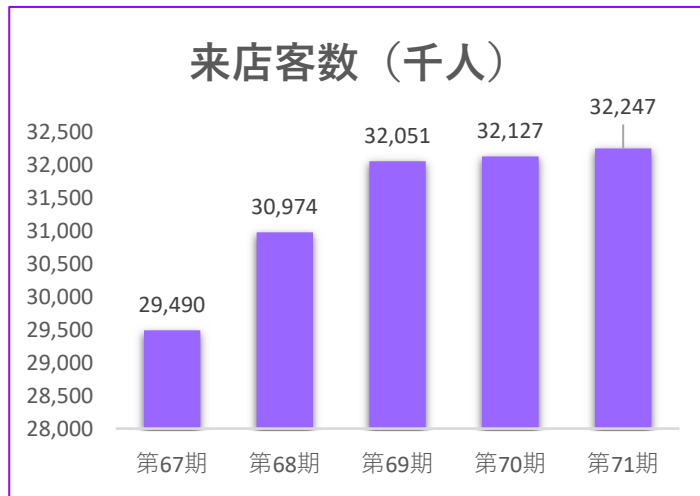
店舗名	年月	備考
業務スーパー <small>らんざん</small> 嵐山店	2022年4月	新店：馳走菜導入店舗
業務スーパー <small>しみず こまごえ</small> 清水駒越店	2022年7月	新店
エスポート新富士駅南店	2022年6月	改装：売場最新化、業務スーパー商材・セミセルフレジ導入
エスポート富士宮店	2022年9月	改装：売場最新化、セミセルフレジ導入
エスポート藤枝店	2022年11月	改装：売場最新化、セミセルフレジ導入

## 第71期 店舗情報

(単位：店、百万円)

業 態	静岡県	神奈川県	埼玉県	山梨県	合 計	売上高
エ ス ポ ッ ト	16	5			21	47,809
ポ テ ト ・ マ ミ ー	14				14	10,043
業 務 ス ー パ ー	33	2	7	7	49	19,054
ハ ー ド オ フ ・ オ フ ハ ウ ス	6				6	602
エ ・ コ モ ー ド	2	1			3	154
ダ イ ソ ー	5	2	1		8	740
合 計	76	10	8	7	101	78,402

※各業態の売上高は収益認識会計基準適用前の数値にて表示しております。



## 第71期 主要な施策等

区分	施策等	内 容
営 業	ロス額の削減	消費期限値引や廃棄などの削減 ☞ ロス額は前年比△14.3%
	値入率の改善	プライベートブランド・ファーストチョイス商品等の販売強化
働 き 方	作業効率の改善	作業効率を向上する商品補充オペレーションや陳列方法の変更
	労働環境の改善	有給休暇の取得の推進、バックルームの空調整備など
	レジ業務効率の改善	セミセルフレジの導入（当期3店舗導入、全5店舗導入）
キャッシュレス	マキヤアプリカ推進	L I N E ミニアプリの導入、チャージ・利用キャンペーン、配信クーポンアプリ内電子レシートの導入
C S R 活 動	寄付の継続実施	ウクライナ紛争、地域災害への寄付
	環境対策	太陽光パネルの設置（3店舗）、冷凍冷蔵ケースのL E D照明化
	リサイクル事業	リサイクル事業（ハードオフ・オフハウス）の拡大（前年比15.2%増）

## 第72期【連結】損益計画

(単位：百万円未満切捨て、%)

	2023年3月期		2024年3月期（計画）		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	70,938	100.0	72,600	100.0	102.3
営業利益	1,635	2.3	1,670	2.3	102.1
経常利益	1,812	2.6	1,830	2.5	100.9
当期純利益	1,187	1.7	1,188	1.6	100.1
1株当たり当期純利益	118.91円	—	118.99円	—	100.1
1株当たり年間配当金	15.0円	—	20.0円	—	133.3
PBR(株価純資産倍率)	0.39倍	—	0.39倍	—	98.1

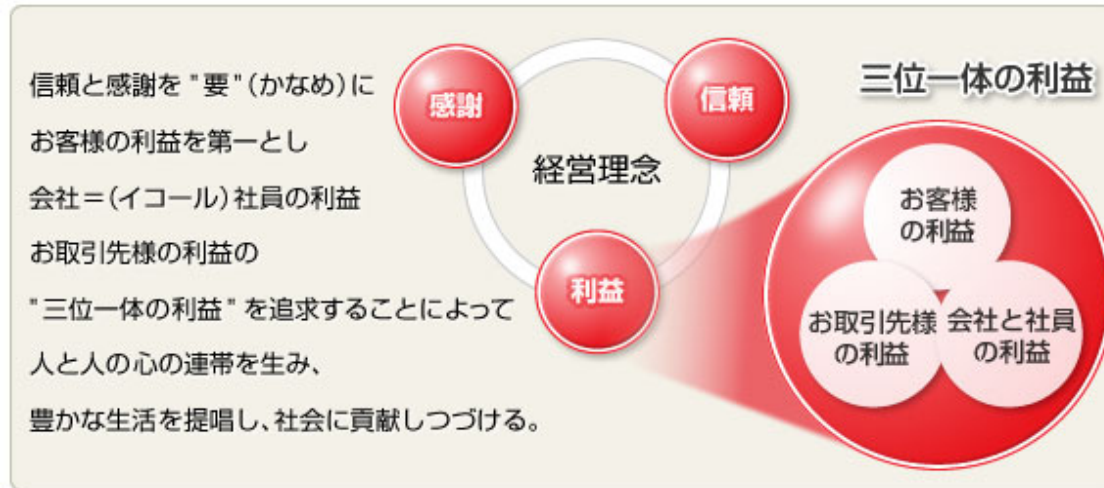
※PBRは2023年3月期は2023年3月末時点の株価、2024年3月期は2023年6月9日時点の株価により算定しております。



## 第72期 主要な施策等（計画）

- ① 「商品力・品揃え」の徹底強化
- ② 「安心安価（E L P）」の実践とプライベートブランド・ローカルブランドの販売強化
- ③ 「ロス額」削減と「過剰在庫・死に筋在庫」の撲滅
- ④ 「欠品・品薄」の撲滅とフェイスUP
- ⑤ 「作業改革」による「働き方」改革の推進
- ⑥ CSR活動の推進拡大（再生エネルギー導入拡大、省エネシステムの導入拡大、社会貢献寄付活動等の継続）

## マキヤグループ経営理念



マキヤグループ  
makiya group

